

第0回もばらっこラボ 実施結果

日時 平成29年4月8日（金）16時～

場所 茂原市役所市民室

参加者 17名

【当日の内容】

1. フューチャーセッション「ぼくらの空き家問題」

(1) イントロダクション

(2) ブレインストーミング

(3) 未来編集会議

(4) 発表&ふりかえり

【ブレインストーミングの主な内容】※順不同

原因

- どうして空き家になってしまうのか？
- 無駄な新築が多いのでは？
- 茂原に流入した人の二世・三世が職を探して転出し、戻らない
- 移動は自由だが、責任は問われるべきでは
- 嫁・姑問題
- 土地の価格が下落しているので、資産価値がなくなった
- 本人たちは近くに新築して住んでおり、旧宅がそのままになっている
- きれいな家が好き
- 核家族が容易に家を建ててしまう
- 更地よりも建物がある方が固定資産税が安い
- 使わないものにお金をかけたくない
- 「もったいない」と思う優しい心
- 相続がうまくいかない
- 茂原は不便だからと若い人たちが戻らない
- ひとり暮らしの老人が多く、数年後は周辺で7～8軒が空き家になりそう
- 空家の処分・対応の仕方が分からない
- 商店街がどう対応しているのか分からない
- 家族間が無縁化しているのではないか？
- 売却・賃貸にしても持ち出しになる

- 何かするにしても金銭的に無理

問題

- 防災・防犯上の問題
- 耐震問題
- 相続問題
- 老朽化した家屋が破損すると周囲に迷惑をかける
- 水害時に消毒が不十分になり、害虫が発生する
- どこが空き家になっているのか分からない
- 住んでいない家は傷む
- 権利者の特定が困難
- 不衛生
- 危険
- 周辺の方の迷惑
- 遠くて管理ができない
- 空家の所有者が掴めない
- 商店街の空き店舗はどうにかならないか
- 管理を他に依頼できない
- 空家にしておくと火災や防犯上よくない

対策

- 解体資金（行政＋不動産協会）
- 税制改正が必要（空き家は高くする）
- 空き家の取り壊し経費を補助する
- 空き家にならないよう、リフォーム費用を補助する
- 自治会で空き家の管理・見回りをする
- 行政で空き家の適正な価値と流通を研究する
- 店舗に活用
- 市営住宅にしてしまう
- 空き家バンクでマッチング
- 地域の人にどこが空き家なのか知ってもらう
- お試し宿泊
- スポーツジム
- 花見
- オリンピック民泊
- こども食堂、学童保育など子どもが集まれる施設に
- 認知症カフェ
- 行政が強制的に取り壊しできるようにするべきか？

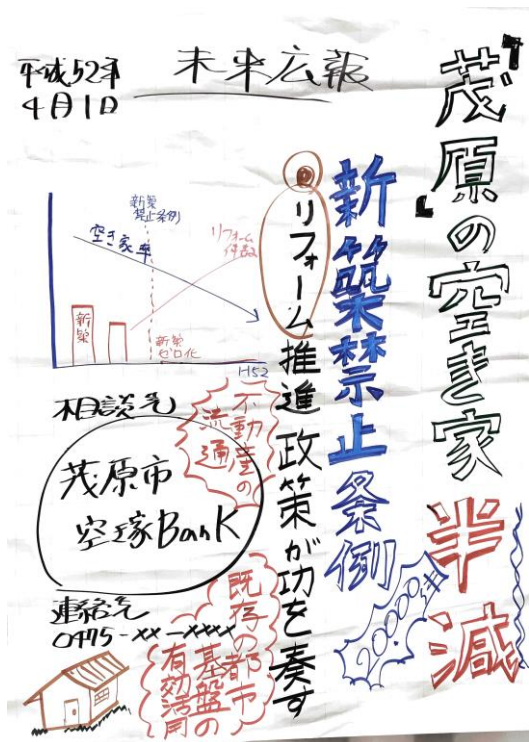
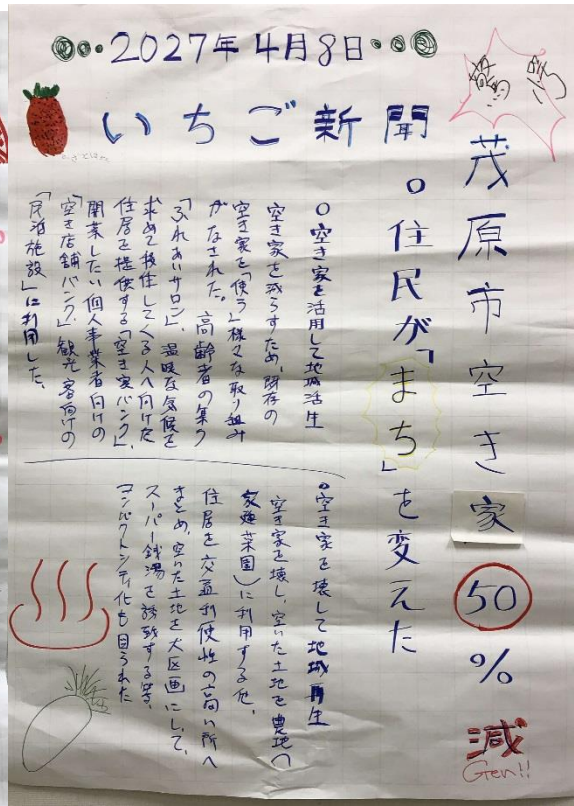
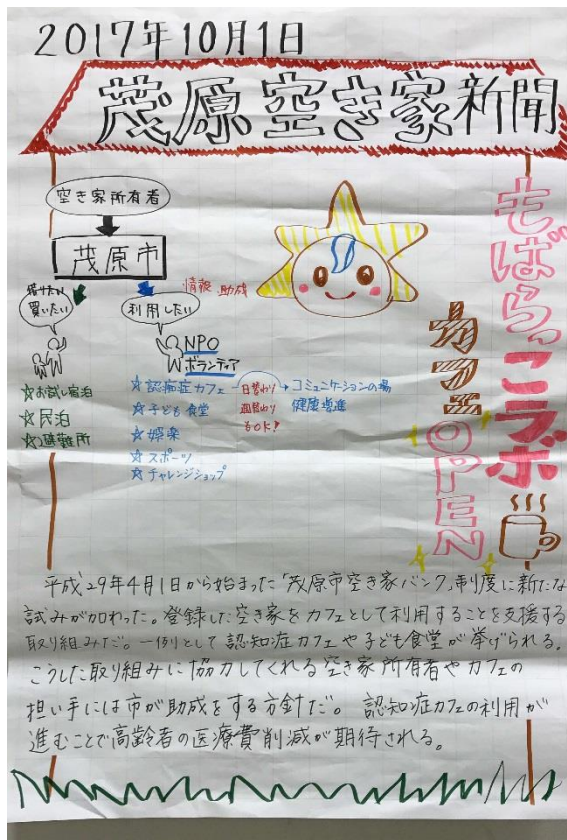
- きちんとした相続
- 「ミニサロン」を空き家で始めたい
- 法的な整備が必要
- 再利用の方法は？
- 行政の補助があるとよい

2. ワークショップの様子

3つの班に分かれて話し合いました。



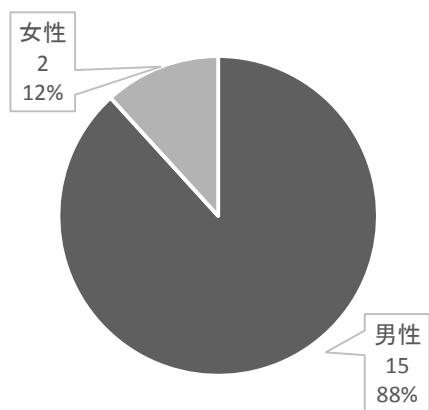
3. 未来編集会議の結果



近い日付から遠い日付まで、バリエーションに富んだ未来の紙面が並びました。

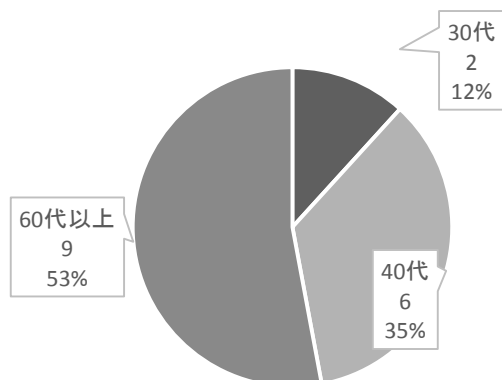
4. 参加者アンケート結果（回答数 17 件）

(1) 性別



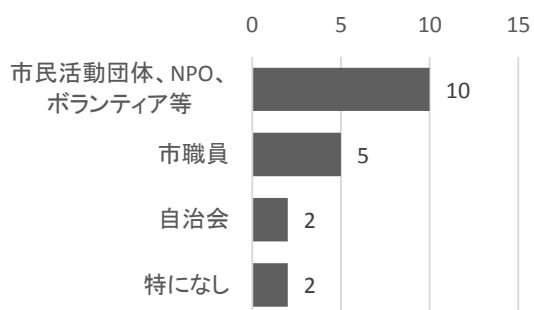
男性 9 割、女性 1 割という結果になりました。

(2) 年齢



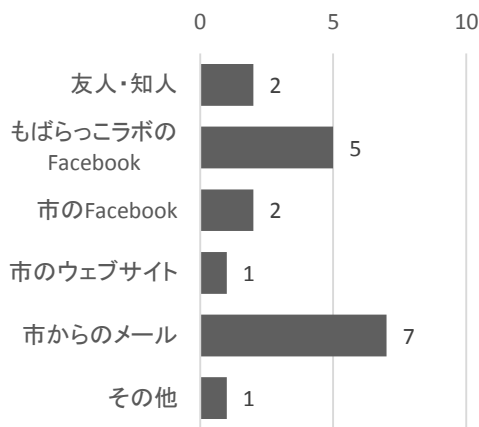
60 代以上の方が半数を占めました。

(3) 所属（複数回答）



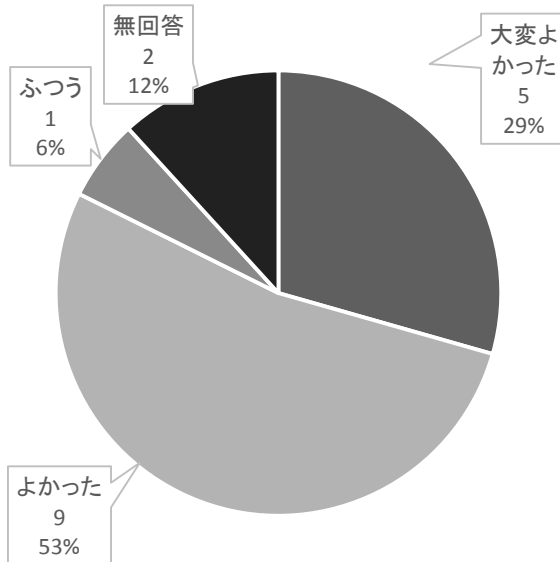
複数回答としたため、1 人で複数の団体に属している方から回答があり、回答総数が参加人数を超える結果となっています。

(4) もばらっころボを知ったきっかけ（複数回答）



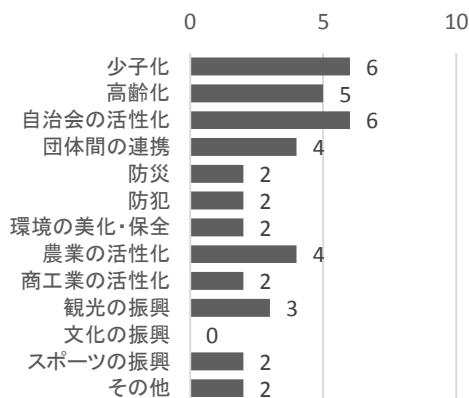
市からのメールで知った方が最も多く、次いで Facebook、友人・知人という結果になりました。

(5) フューチャーセッションについて



「大変よかった」、「よかった」と回答いただいた方が 8 割を超えました。

(6) 今後、開催を希望するテーマ（複数回答）



「少子化」、「自治会の活性化」を希望する方が最も多く、次いで「高齢化」、「団体間の連携」、「産業の活性化」という結果になりました。